

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ミライク学園		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～ 令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～ 令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者に寄り添った支援を行っている。	LINEを活用して、利用ごとに一日の利用の様子や取り組んだ内容を文章と写真で保護者に伝えている。	LINEを活用した情報伝達の他、保護者会や法人イベントを開催することで保護者の方と対面する機会を設定し、保護者からのご意見やお悩みを伺うことで、より一層保護者に寄り添った支援を行う体制を作る。
2	児童一人ひとりの課題感に応じた支援を提供している。	児童ごとにアセスメントを行い、アセスメント結果に基づいた支援構築や課題設定を行っている。	お子さんの関係機関にもお子さんの様子を聞くことで、他視点からお子さんの課題感を捉え、その部分を支援に反映させることで、より『個』を捉えた支援を提供する。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	十分な遊びのスペースの確保が難しい。	環境設定が上手くできておらず、遊びのスペースが狭い。	環境設定や構造化を行い、子ども達にとって十分な遊びのスペースを確保する。
2			
3			